

建設計画に係る平成20年度～22年度実施事業に関する意見に対する対応調書

地区名：塩江

地区名	項目番号	項目	事業の内容 (地域審議会からの意見等)	担当部局	担当課	前回までの対応	担当課	今後の対応
塩江地区	- 1	南部クリーンセンターの周辺環境整備	香東川親水ゾーン整備事業 1. 多目的道路整備工事 工区 音川～観月橋の整備 (H18-H21) 工区 関～音川の整備 (H22-H25) 2. 関、音川地区の散策道周辺の整備 (H20-H21) 3. 上中徳公園整備工事 (H20) 4. 土地改良区事業の地元負担金補助 (H20-H25)	環境部	環境総務課環境施設対策室	香東川親水ゾーン整備事業は、南部クリーンセンター整備に伴う周辺生活環境整備事業として、地元住民の要望のもと、塩江町安原地区の活性化と自然環境の保全の観点から、香東川周辺を潤いとやすらぎの親水ゾーンとして整備を進めています。 当該事業は、平成18年度に事業着手しており、音川橋より上流部の多目的道路を整備し、地域内のネットワークを図るとともに、音川橋下流部の整備に着手する予定です。また、地域のコミュニケーションや子どもの遊びの場等の役割を担う上中徳公園（仮称）を整備するとともに、土地改良区による農業基盤や生活環境の改善を推進していきます。	環境総務課環境施設対策室	平成20年度の香東川親水ゾーン整備事業は、多目的道路整備として、平成19年度に用地測量等を行った区間の用地取得と一部区間の整備工事に着手 上中徳公園（仮称）約3,000㎡の整備 土地改良事業地元負担金補助事業 を予定しています。 多目的道路の用地取得等については、地元の協力が不可欠であるので、地権者をはじめ地元の方々と協議する中で、事業を進めてまいります。
塩江地区	- 3	市民の森づくり	橋谷・黒石地区の市有林70haを活用し、山桜や合歡をテーマとした地域景観の整備を進める中で、住民や来訪者が自然に親しむことができるよう市民の森づくり事業として整備を要望するものです。	産業経済部	農林水産課	塩江地区では、市民が散策や野外レクリエーションなどを通じ、自然とふれあい、親しむことができる大滝山自然休養林や松尾生活環境保全林が整備されています。橋谷・黒石地区の市有林については、森林ボランティア団体や企業・NPO法人等による森林づくり活動を含め、その活用策等について、検討していきたいと考えています。	農林水産課	橋谷・黒石地区市有林の内、黒石地区の一部約9haについて、地元関係者に了解のうえ、4月21日づけで、(株)アサヒビールと「フォレストマッチング協働の森づくり」の協定を締結しました。本協定は、当区域を「香川・アサヒビールの森」として、竹林伐採および植林などの森づくり活動を(株)アサヒビールが3年程度で行うものであり、今後とも、本制度の適用を拡大するとともに、地元住民参加も視野に入れた、ボランティア団体やNPO法人等による市民の森づくりを目指していきたいと考えています。
塩江地区	- 1	統合小学校の建設	平成15年の塩江町教育問題協議会での答申を踏まえ、小学校の統合・新校舎建設について保護者や地域住民の理解と協力が得られるよう、地元説明会を開催しながら統合小学校の建設を行うことを要望するものです。	教育部	総務課新設統合校整備室 学校教育課	合併前の塩江町での協議状況を踏まえるとともに、過疎化・少子化に伴う適正な学校運営を確保するため、塩江地区の3小学校を統合する予定です。 また、塩江中学校の施設老朽化を考慮し、小・中一体型の施設整備についても、あわせて検討していきたいと考えています。 なお、合併における建設計画に重点取組事項として位置付けられていることから、地域審議会での協議を踏まえながら取り組みたいと考えています。	総務課新設統合校整備室・学校教育課	合併前の塩江町での協議状況を踏まえるとともに、過疎化・少子化に伴う適正な学校運営を確保するため、塩江地区の3小学校を統合する予定です。 また、塩江中学校の施設老朽化を考慮し、小・中一体型の施設整備についても、あわせて検討していきたいと考えています。 今後、学校の統合について、地域審議会の意見をいただきながら、3小学校区の合意形成を図ってまいりたいと考えています。
塩江地区	- 2	後川地区橋梁整備	町道大向線、町道芦川線を生活道としている芦川・後川住民にとって、国道193号線と結ぶ連絡橋は、塩江橋と後川潜水橋のみです。また、後川地区にはホテルと文化の里があり、観光の拠点となっています。 しかし、高水位になると後川潜水橋は使用不能となることから、通行における安全性の確保、利便性の向上を図るため、橋梁の新設を要望するものです。	都市整備部	道路課	後川地区橋梁整備につきましては、現在の後川潜水橋では高水位のたびに通行止めとなり、地域住民の生活道としての機能が阻害されていることから、今後、河川および道路の管理者である県と協議し、国、県の補助制度や合併特別債の活用などに留意する中で、検討していきたいと考えています。	道路課	後川地区橋梁整備につきましては、今年度基本設計を行う予定としており、その成果を基に、今後、河川および道路の管理者である県と協議し、国、県の補助制度や合併特別債の活用などに留意する中で、検討していきたいと考えています。
塩江地区	- 3	県道中徳三谷高松線の整備	県道中徳三谷高松線は、合併前の香川県事業の要望時には香川町につながり、高松市と接していないため建設計画の掲載から外されています。現在は、同じ高松市として交流を図る必要がありますが、その東谷区間は道幅が狭く往来に支障をきたしています。このようなことから、この区間の整備を事業主体である香川県に対して強く働きかけを行うことを要望するものです。	都市整備部	道路課	県道中徳三谷高松線の整備につきましては、道路管理者であります県に要望していきたいと考えています。	道路課	県道中徳三谷高松線の整備につきましては、平成19年度に道路管理者であります県に要望しているところです。